

白川・イタリアオルガン音楽アカデミー

International Music Festival Mino Shirakawa

The 36th Shirakawa Italian Organ Music Academy



主催 岐阜県白川町／イタリア・ピストイア市
協力 ジュゼッペ・ゲラルデスキ国際オルガン・アカデミー
後援 イタリア文化会館・大阪・岐阜県・日本オルガン研究会
白川町国際友好協会・美濃白川ライオンズクラブ
期日 2021年8月23日(月)～8月28日(土)
会場 白川町町民会館
講師

ウンベルト・ピネスキ ボローニャ音楽院名誉教授

金澤 正剛 国際基督教大学名誉教授

浅井 寛子 カトリック麹町聖イグナチオ教会オルガニスト

秀村 知子 オルガニスト

使用楽器 辻オルガン Op. 81, イタリア様式

辻オルガン Op. 46, イタリア様式

クラヴィコード、ポジティブオルガン

受講料 実技受講 20,000円(定員申込先着20名)

※賞受賞のためには、全日程受講が必要です。

※8月28日グローリアホールにて受講生コンサートを開催します。

賞の授与 【辻宏賞】 1名。

令和4年度に、岐阜県美術館でコンサート出演

【白川賞】 若干名

申込み受付期間 2021年6月1日(火)～6月30日(水)

申込先 〒509-1105 岐阜県加茂郡白川町河岐 1645-1

白川・イタリアオルガン音楽アカデミー事務局

Tel : 0574-72-2317 Fax : 0574-72-2503

便利なインターネット申し込みをご利用ください。

<https://www.town.shirakawa.lg.jp/event/academy.html>

QRコードから案内ページに移動できます。



※注意事項※

今年度はウィズコロナの時代でも実施できるよう大幅な内容変更を行い、ピネスキ先生にはオンラインでやり取りするなど、新たな取り組みをします。

新たな事にチャレンジするので、期間中であっても日程、内容等に変更がある可能性もあります。くれぐれもご了承くださいますとともに、ご不明な点は必ず事前に電話・メール等でお問合せください。

今年度のアカデミーの内容について

①白川町とピストイア市との友好、イタリア式オルガンへの理解を深める

・ピネスキ先生にピストイアのオルガンを紹介するビデオを特別に作成していただき、イタリアのオルガンについての学びを深めます。

②ピネスキ先生によるオンライン指導

・受講生の演奏動画をピネスキ先生に送付し、それぞれ指導をいただきます。(時差や音飛び等を考慮し、リアルタイムでの指導ではありません)

③オルガン工房見学

・旧辻オルガン工房の見学により、オルガン建造についてビルダーから解説を受けます(バス移動)

④講師によるレッスン

・3つのオルガンでレッスンを行います。

⑤個別練習

・オルガンやクラヴィコードを使用した個人練習です。

※今後の状況によっては、アカデミーの内容変更や昨年同様中止もあり得るという事をご承知おきください。

●新型コロナウイルス感染対策について

主催者側で対応できることは限られています。下記の天について必ず守っていただくようお願いします。

・参加2週間前からの体調管理

・接触確認アプリのインストール

・マスクの着用、手指の消毒、3密の回避

・4人以上集まった会食の禁止

・申し込みが済んでいる場合でも、感染が拡大している市町村からの参加はご遠慮ください。(返金対応予定)

☆☆ 課題曲 Literature ☆☆

☆ Prof. Umberto Pineschi

Claudio Merulo(c.1533-1604)

01 – Undecimo detto quinto tuono.Toccata prima (secondo libro)

02 – La Bovia (from Canzoni d'intavolatura d'organo libro primo)

Girolamo Frescobaldi (1583-1643)

03 – Toccata prima (secondo libro)

04 – Toccata quarta (primo libro)

05 – Capriccio X sopra un soggetto

Michelangelo Rossi (ca. 1601/1602 – 1656)

06 – Toccata seconda

Gaetano Valeri (1760–1822)

Opera prima (1785):

07 – Sonata terza (Principali e Tromboncini)

08 – Sonata quarta (Flauto solo in ottava)

09 – Sonata quinta (Principali e Flauto in duodecima)

MS B.226,8 of the Library of the Cathedral of Pistoia (18th century)

Messa in sesto tuono

10 – Versetti per il Kyrie

11 – Versetti per la Gloria

12 – Versetti per dopo l'Epistola,per il Sanctus,per

l'Agnus Dei e per dopo l'Ite missa est

13 – Toccata per l'Offertorio [I]

14 – Elevazione [II]

15– Pel Post Communio [I]

Gherardo Gherardeschi (1835–1905)

Messa per organo (facile),17 ottobre 1899:

16 – Offertorio

17 – Elevazione

18 – Comunione

★ Hiroko Asai

19 – Toccata in G (improvisation, a model and some examples
will be given to participants in advance)

20 – Free meditation (improvisation, some themes or motifs
will be given to participants in advance)

21 – Hymn 'Was Gott tut, das ist wohlgetan' and its introduction

Georg Philipp Telemann (1681–1767)

22 – Vater unser im Himmelreich (alio mode, bicinium)

23 – Allein Gott in der Höh sei Ehr (alio mode, bicinium)

24 – Komm, heiliger Geist (alio modo, bicinium)

19 – ト長調のトッカータ（ミサの前に弾く即興演奏、参考曲や資料を事前にお送りします）

20 –自由なメディテーション、2声のピチニウムやアダージョなどの静かなスタイルでの即興演奏（いくつかのモチーフを事前にお送りします）

21 – 讚美歌「み神のみわざは (Was Gott tut, das ist wohlgetan)」前奏及び伴奏（旋律譜を事前にお送りします）

※辻宏賞受賞のために準備しなければならないこと

上記課題曲から、30分程度のミニコンサートのプログラムを作り準備する

（全曲を実際に演奏していただく予定はありません）

入門講義：Introductory lecture

Prof. Masakata Kanazawa 金澤 正剛 教授

Theme: Differences of Local Characteristics of Organ.

オルガンの地方的特徴の違いについて

本講義：lecture

Prof. Umberto Pineschi

Theme:Organs around Pistoia

ピストイアとその近傍のオルガンについて